

広大な蒼い海に泡で詩を描く

The Book in The Sea



実験の様子 : FILGHODU (マルタ語) = 朝

東京藝術大学、アトリエオモヤ、空間演出研究所 共同プロジェクト
(代表：東京藝術大学 美術学部 デザイン科 准教授・鈴木太郎)

《企画概要》

「自然の物理現象をアートへ昇華させる」
鈴木太朗を始めとするアーティストグループによる新作

史上初！地中海をキャンパスに「泡」を使った幻想的な演出で、
年間190万人が訪れるマルタの地で人々を魅了します。

- 本事業は、「欧州文化首都」に選ばれた数少ない日本人アーティストの中から、鈴木太朗を始めとするアーティストグループが手がけるアート事業。「欧州文化首都」とは、欧州連合 (EU) が指定した都市で、一年間もの間文化的な催しを行い、世界各地から訪れる観光客や参加者を魅了する。
- 舞台は、2018年8月、地中海に浮かぶマルタ共和国の諸島「マルタ島」。年間約190万人もの観光客が訪れる。
- 制作に関わるアーティストは、「東京藝術大学」の全面協力のもと、鈴木太朗を始め、赤川智洋や田中慶、田部井勝の所属するクリエイティブ集団「アトリエオモヤ」と、更に、サロン・ド・プランタン賞受賞や神戸ビエンナーレ大賞など数々の受賞歴を誇る「東京藝術大学 空間演出研究所」メンバー。

この作品でデザイン、アートの世界に新たな1ページを開きたいと本気で考えています。
アーティストにとっても、これまでの表現から踏み出す新たな表現を開拓するチャレンジです。



アトリエオモヤ 空間演出研究所
鈴木太朗（アーティスト
・東京藝術大学准教授）



アトリエオモヤ
赤川智洋（アーティスト
・エンジニア）



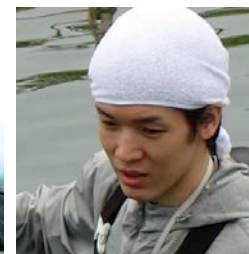
アトリエオモヤ
田中慶
（造形作家）



アトリエオモヤ
田部井勝
（美術作家）



空間演出研究所
西毅徳
（美術作家）



空間演出研究所
安藤拓生
（美術作家）

《『The Book in The Sea』 について》

- 開催日時：2018年8月7日～8月13日（7月29日～8月19日準備・回収期間）
- 開催場所： マルタ共和国 ヴァレット
- 主催者：欧州文化首都（ECC: European Capital of Culture）
（日本：EU・ジャパンフェスト日本委員会事務局 / マルタ：Valletta Design Cluster launched）



地中海に浮かぶマルタ共和国。息を飲むほど美しい海、世界遺産の城塞都市、超古代遺跡が残るところです。実は、長い歴史の中で数々の戦火に見舞われており、マルタ島の海岸は城壁に覆われた部分もあるなど、海に対する深く重い記憶があります。

マルタ人の、深い歴史を通したマルタの海の見え方と、今、目の前に広がる誰もが感動するマルタの美しい海。同じ海のレイヤーに、見る人によっていろいろな意味があり、歴史があります。

その地中海を本と捉え、幅80メートルにわたり海に気泡で詩を描くというのが今回の作品です。

機械的に制御し正確さを求めながらも時間と共にはなく崩れ消えてゆく泡で出来た文字の姿が、現在と過去を行き来する海の記憶として作品上に展開される予定です。

マルタ島はクルーズ客の乗客を含む年間190万人もの大勢の観光客が来ます。このプロジェクトはマルタの人々だけでなく、世界中の多くの方々に体験していただけることになります。マルタ島バレッタの中でも特に有名な名所のひとつ、Lower Barrakka Gardensから見下ろす海に広がる「The Book in The Sea」は、観光客やマルタの方々に深く印象に残る、また日本人の制作したものとしてマルタの歴史に刻まれる作品となることを私たちは願っています。

《クリエイター紹介》

鈴木 太郎（すずき たろう）



- アトリエオモヤ代表
- 空間演出研究所所長
- メディアアーティスト
- 博士（美術）
- 東京藝術大学 美術学部 デザイン科 准教授

1973 東京 葛飾生まれ

2000 東京藝術大学 美術学部 デザイン科 卒業

2002 東京藝術大学 大学院 美術研究科 修士課程 修了

2005 東京藝術大学 大学院 美術研究科 博士後期課程 修了

自然の物理現象を観察、その魅力を綿密な考察と理解から、根本的な美しさを持つ作品を生み出すメディアアーティスト。独自の発想や高度なテクノロジーに支えられ時間軸上に抽出される「物質」や「光」の動きや変化は、鑑賞者に純粋な感動やおどろきを伝える。国内外多数の国際展に参加、公共空間へのインストール、またアトリエオモヤの代表としてその世界を広げ、いずれも高い評価を得ている。

NHK「デジスタアワード2003」グランプリ、2004年「第7回文化庁メディア芸術祭」奨励賞、2005年東京藝術大学大学院修了作品が野村賞・東京藝術大学美術館作品映像資料買上げ、など受賞多数。主な展覧会に、2004年「鈴木太郎展・そして、舞う」（東京／スパイラル）、Digital Art Festival Taipei 2006（台湾／台北）、2007年文化庁メディア芸術祭10周年企画展「日本の表現力」（東京／国立新美術館）、2012年フランスシャルル・ド・ゴール空港作品常設など。最近ではアトリエオモヤ、空間演出研究所での新作に注力。

《クリエイター紹介》



アトリエオモヤは、光、水、布、ビー玉など身近な素材が織りなす現象がもたらす驚きや発見を追求し、アートへと昇華させ続ける芸術家集団。国内外問わず、老若男女に受け入れられる作品を目指している。

2003年に東京の下町の元銭湯の母屋(おもや)部分をアトリエとして活動を始めたところから名づけられた。代表の鈴木太郎を中心に、メンバーが流動的に入れ替わりながら、プロジェクトごとに違った感性が集うことで新たなかたちの芸術を志向する。

Exhibitions (一部)

- 2009年 「TOKYO FIBER '09 SENSEWARE / WATER LOGO 09」 グループ展 (La Triennale di Milano / Italy)
「あざみの”夏の”こどもぎやらりい2009 / 光であそぶ」 グループ展 (横浜市民ギャラリーあざみ野 / 神奈川)
- 2010年 「IT wall」 空間演出 (福武ホール / 東京大学)
「TOKYO FIBER '09 SENSEWARE / WATER LOGO 09」 グループ展 (Design Museum Holon / Israel)
- 2011年 「Another Moon Project - みんなの星」 ワークショップイベント (新町川 / 徳島)
「Designing Design - Kenya Hara in China 2011 / WATER LOGO 09」 (Beijing, Center for the Arts / 北京)
「魔法の美術館 / 光であそぶ」 グループ展 (MOA美術館 / 静岡)
- 2012年 「徳島LEDアートフェスティバルHOP / Another Moon Tokushima」 (徳島中央公園 泉の池 / 徳島)
「Water Canvas / 鈴木太郎」 作品恒久設置 (Charles de Gaulle International Airport_satellite4 / France)
「アトリエオモヤ展 Light」 個展 (横浜美術大学大学ギャラリー / 神奈川)
- 2013年 「Domain of Art 10 アトリエオモヤ展 Mixed-Next」 個展 (さいたま市プラザノース ノースギャラリー / 埼玉)
- 2014年 「YAHOO!アワード2014 トロフィー」 トロフィー制作
「久松湯 / ゆのみち」 プロジェクション作品 (久松湯-銭湯 / 東京)
「ELTTOB TEP ISSEY MIYAKE / PATAPATA GINZA」 ショーウィンドウ展示 (東京)
「JINS art project vol.2 / Liquidscape」 展示 (JINS本社 ギャラリースペース / 東京)
「パラレルネイチャー ～もうひとつの自然採集～ / オトワタリ, 光であそぶ」 グループ展
(朝日町立ふるさと美術館 / 富山)
「大館・北秋田芸術祭2014 / 光であそぶ」 グループ展 (大町商店街-旧ボンジュール / 秋田)
- 2015年 「動きのカガク展」 出展 (21_21 DESIGN SIGHT / 東京)
- 2016年 「瀬戸内国際芸術祭2016 / 海と太陽のモード」 出展 (小豆島土庄港 アートノショーターミナル)

《アート作品紹介》

<https://youtu.be/Jz4oebpeciQ>



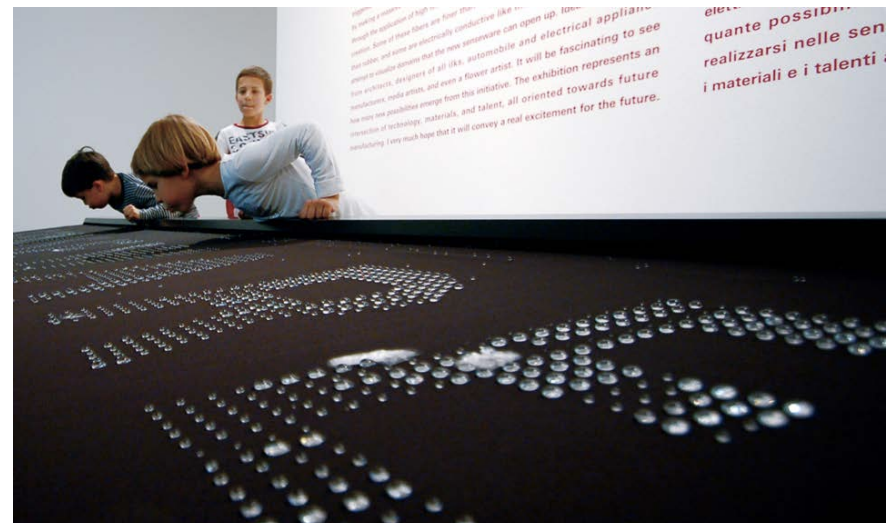
JINS ART PROJECT *Liquidscape*



光であそぶ (日本各地での展覧会に出展)



シャルルドゴール国際空港第2ターミナル *WATER CANVAS*



WATER LOGO '09 (ミラノ、東京、イスラエル)

《クリエイター紹介》

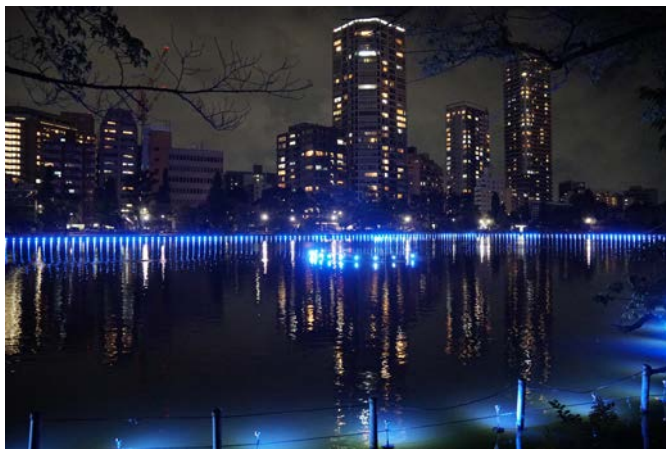


空間演出研究所は、東京藝術大学デザイン科空間・演出研究室（鈴木太朗）のメンバーを中心に、デザインのチカラで社会に対して空間を豊かにしていこうと2016年末に活動を開始した空間デザイン研究所。所長は鈴木太朗、代表は西毅徳。空間演出研究所では、素材のほか、光や動きなど造形の諸要素を自由に取り入れ、これらの特性を生かした空間表現の可能性を研究。また、テクノロジーなど新分野との融合も含めた、デザインの新しい領域を開拓。社会に対するアプローチや企業とのコラボレート、大学間連携を含めた実践的創作活動をおこなっている。

Exhibitions

上野不忍池全周に光の反射現象を取り入れ水面を鏡のように見せた作品「ミナモミラー」(2016-2017)、こどもたちに光の感動体験をもたらすワークショップ「テントーテント」(2017)などがあり、また企業との共同プロジェクトも進行中。

《アート作品紹介》



上野公園数寄フェス「ミナモミラー」出展



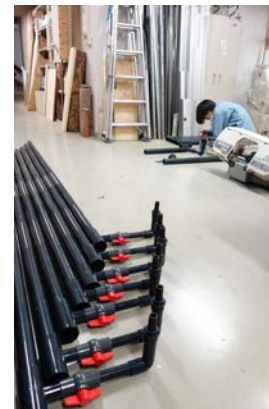
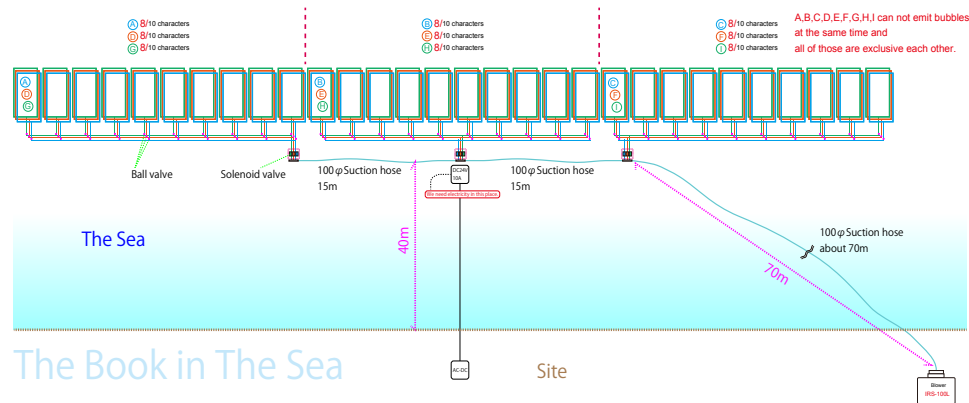
町屋幼稚園ワークショップ「テントーテント」



素材の可能性の追求

《『The Book in The Sea』 は3年間の準備期間を経て実現します》

2016年12月から初期実験を開始し、大量の泡を発生させるブローラーを使いながら、アクアマリンふくしまでの実験や、2018年3月にはマルタへの実験渡航にも行きました。図面のアップデートや構造を練りながら、現在、私たちは全身全霊を傾けてこのプロジェクトに取り組んでいます。



欧州文化首都により、マルタ共和国では1年を通して様々な文化イベントが行われます。多くの外国人がマルタ共和国を訪れるこのタイミングに、ヴァレッタの素晴らしい海を一望景色にこの作品が設置されることは、世界的に見てもインパクトのある出来事となると思います。

この作品を通した感動を、全世界の方々に体験してもらいたいです。アトリエオモヤ、空間演出研究所として、また東京藝術大学としてもこの作品でデザイン、アートの世界に新たな1ページを開きたいと本気で考えています。

クラウドファンディングのお願い

東京藝大×クラウドファンディング「The Book in The Sea」

<https://readyfor.jp/projects/TheBookinTheSea>

空間演出研究所、アトリエオモヤでは現在、表現内容に共感して頂ける方（または企業様）とこの壮大な作品と一緒に実現させよう！という主旨で、クラウドファンディングサービスReadyfor上で資金の協力をお願いしています。

日本の表現力を、世界中からの観光客の前でPRしたいと考えています。

噴水や大きい花火で激しさを競うのではなく、線香花火という花火も好きな日本人として、日本から世界に誇れる繊細なアート表現を世界に示したい。そんな野望もあります。

このクラウドファンディングは、2ヶ月で目標額500万円に達しない場合、登録してくださった金額は全額返金されます。（All or nothing形式）6月29日（金）午後11:00が締め切りになります。

これまで多くの方からご支援いただいて、100万円にまで金額が伸びています。応援してくださっている方、とても嬉しいです。ありがとうございます。

クラウドファンディングも残り二十日ほど。3,000円から登録出来ます。

皆さま、是非ご協力頂けたら幸いです。